



# 関宮学園

学校だより 39号

R8. 2. 20

## 校訓「敬・愛・信」

### ティーンズキッチン

2月6日(金)に9年生を対象に、いずみ会と養父市給食センターに協力いただき行いました。9年生は卒業するとお弁当を食べる機会が増えます。自分でお弁当を作ることができるよう指導していただきました。自分にあわせた大きさの弁当箱を選ぶこと、主食:主菜:副菜の割合を3:1:2にすること、旬の食材を使って彩りをきれいにすること、大きなものからつめることなどのポイントを踏まえて、お弁当を作りました。

日本のお弁当文化が注目されています。今や「Bento」として世界でも共通語となっています。その歴史はとても古いです。農業水産省のホームページに次のような記事を見つけました。お弁当をテーマに探究するのも楽しいです。

- ・ おにぎりは一千年以上も前から存在しており、その原型は平安時代の紫式部の「源氏物語」にも見ることができる。
- ・ 今のお弁当の原型とも言える幕内弁当は、江戸時代に人々の娯楽である芝居の合間に食事をとるために誕生した。ある記録では、中身は、握飯10個、こんにゃく、焼豆腐、干瓢の煮付、芋の煮付、かまぼこ、卵焼だった。

### 学校保健委員会

2月12日(木)に学校保健委員会を行いました。学校医、学校歯科医、学校薬剤師の皆様から助言をいただきました。一部を紹介しますので、参考にしてください。

- ・ デジタル機器の長時間使用により近距離を見る時間が増え、視力低下が懸念されています。視力の発達・維持には、屋外で過ごし太陽光を浴びることが大切で、十分な睡眠も効果的です。また、デジタル機器の使用は家庭で時間やルールを決め、保護者の目の届く環境で使用させましょう。AIによる相談は便利ですが、人と人との関わりに代わるものではありません。家庭での会話や見守りを心がけましょう。
- ・ おし歯は減少傾向にありますが、低学年でも歯石や歯肉炎が見られるため、丁寧な歯みがきの継続が大切です。口腔ケアは、感染症予防にもつながります。
- ・ 早寝だけでなく、毎日同じ時間に早起きすることが健やかな成長を支える睡眠につながります。早起きは生活リズムを整え、朝食の時間にもゆとりを生みます。

また、神戸新聞にも次のような記事が掲載されていました。本校も同じような傾向にあります。一部を引用しますので、ご家庭で話題にしてみてください。

文部科学省は13日、2025年度の学校保健統計調査結果を発表した。裸眼視力が1.0未満の割合は小学生36.07%、中学生59.35%、高校生71.51%に上った。10年前と比べて小中高で5~7ポイント上昇し、近年視力低下が深刻となっている。文科省の担当者は「子どもを取り巻く環境が変化し、スマートフォンや本を近い距離で使用する機会が増えたことなどが背景にあるとみている」と分析。読書やスマホ使用などの際は30センチ以上離すといった対策を呼びかけている。

視力以外では、虫歯がある児童生徒は小学生30.83%、中学生25.23%、高校生32.77%で、いずれも過去最低。

## 音楽ワークショップ

2月13日(金)6年生を対象に、ダンサーとミュージシャンによるパフォーマンスグループ「コロンビア・エン・カルナバル」をお招きし、コロンビア音楽のワークショップを行いました。「コロンビア・エン・カルナバル」は大阪・関西万博でもコロンビアの音楽を披露されました。子どもたちは、コロンビアの民族楽器や民族衣装を体験し、最後は全員で合奏しました。音楽を通じて国際理解が深まった貴重な体験になりました。19日(木)の神戸新聞にも掲載されていました。機会を提供いただいた養父市国際交流員のロメロ・セサルさんに感謝申し上げます。

翌14日(土)にビバホールで行われたステージを鑑賞してきました。トークセッションで、前日の関宮学園でのワークショップの話題になり「エモーショナル(心を揺さぶられた)」と感想を述べられていました。6年生との交流が感動的で涙したとのことでした。

関宮学園では、子どもたちに、通常の教育活動では出会えないような多様な体験を提供したいと考え、さまざまな事業に手を挙げています。今年度に入ってから、パイロットによる講演、お仕事体験ワークショップ(ペンケースづくり)、ドローンや3Dプリンターの実物体験、おもしろ理科実験(PTA事業)、万博イベントなどを行っています。体験は、子どもたちの豊かな学びと成長につながります。そして、何よりも日常の学校生活に楽しみを与えます。子どもたちが、学校を楽しいと感じられるよう努めています。

## 養父市文化財展示室を見学

2月18日(水)に関宮地域局分館で、6年生が養父市文化財展示室の見学を行いました。6年生は一年間、社会の授業で歴史を学んできました。そのまとめとして、今年1月17日(土)に開館した養父市文化財展示室を見学し、養父市の歴史を学びました。これまで学習した内容について、ふるさと養父市の資料や実物を見て学習することにより、改めて、興味や関心が高まり、より深い学びを得るとともに、地域の施設を知るきっかけづくりとなりました。歴史文化財課職員による解説がありました。歴史文化財課職員には、事前に社会の教科書を渡しておき、教科書をもとに解説を行っていただきました。